

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
メディアコンテンツ制作 Media Content Production		情報メディア学科	2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	選択	林 孝哉	
概要				
<p>コンピュータ上で扱うメディアは、文字・文書、画像・図形、音声・音響、動画・映像などさまざまである。これらメディアの特徴を理解し、目的や用途によって適切なメディア処理ソフトウェアを利用し、適切なファイル形式で保存することが要求される。本授業では、メディアコンテンツ制作に必要な技術について説明する。</p>				
到達目標				
<p>(1) デジタル化について説明できる。  (2) メディア技術の種類と特徴を説明できる。  (3) メディアコンテンツを適切なメディア処理ソフトについて説明作成できる。  (4) メディアコンテンツを適切なメディア処理ソフトを利用して作成できる。  (5) メディアの種類に適したファイル形式でコンテンツを保存できる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 マルチメディア技術の種類と特徴</li> <li>2 ファイルフォーマット、ファイルの圧縮</li> <li>3 メディア技術のファイルフォーマット</li> <li>4 メディア処理ソフトウェア</li> <li>5 文字：文字コード・フォント</li> <li>6 音声の基本：波形編集・エフェクト</li> <li>7 音声波形編集の演習</li> <li>8 音楽の基本：MIDI・音源</li> <li>9 音楽作成の演習</li> <li>10 動画処理の基本（1）：ノンリニア編集・文字・音声設定</li> <li>11 動画処理の基本（2）：映像合成・エフェクト</li> <li>12 動画編集の演習</li> <li>13 ベクタ形式（1）：ラスタ形式とベクタ形式</li> <li>14 ベクタ形式（2）：ベクタ画像の編集</li> <li>15 ベクタ形式画像編集の演習</li> </ol>				
テキストおよび 参考文献	テキスト：なし（適宜プリント配布）			
メッセージ など	ウェブデザイン実務士：選択必修科目			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) デジタル化について説明できる。	ほぼ完璧にデジタル化について説明できる。	大きな間違いが無く、デジタル化についての基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限のデジタル化について説明できる。	デジタル化について説明できていない。	定期試験 (知識・理解・思考力・判断力)	20%
(2) メディア技術の種類と特徴を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いが無く、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解・思考力・判断力)	20%
(3) メディアコンテンツを適切なメディア処理ソフトについて説明作成できる。	ほぼ完璧にメディア処理ソフトについて説明できる。	大きな間違いが無く、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	メディア処理ソフトについて説明できていない。	定期試験 (知識・理解・思考力・判断力)	20%
(4) メディアコンテンツを適切なメディア処理ソフトを利用して作成できる。	ほぼ完璧にコンテンツを作成できる。	大きな間違いが無く、基本的なコンテンツを作成できる。	間違いはいくつかあるが、最低限のコンテンツを作成できる。	コンテンツを作成できていない。	課題レポート (知識・理解・表現力)	20%
(5) メディアの種類に適したファイル形式でコンテンツを保存できる。	ほぼ完璧にファイルを保存できる。	大きな間違いが無く、ファイルを保存できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本的なファイルを保存できる。	ファイルの保存ができていない。	課題レポート (知識・理解・判断力)	20%